

第7回 北信越体育・保健体育ネットワーク研究会 ～トキめきラウンド～【報告書】

＜H30. 9. 29（土） 新潟市「プラスサード」＞

第7回「トキめきラウンド」を開催いたしました。県内各地から行政・小・中・高等学校の教育関係者、また遠くは山形県からも、総勢23名の方々からご参加いただきました。ネットワーク常連の先生方から初参加の先生方まで、共に濃密な時間を過ごし、熱い議論が展開されました。

1. 話題提供「新学習指導要領改訂のポイント」

国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官の高橋修一様から、新学習指導要領改訂のポイントについてお話をいただきました。

今回の学習指導要領改訂の背景、何ができるようになるのか・どのように学ぶのか・何を学ぶのか、カリキュラム・マネジメント、さらには何が身に付いたかという学習評価について、新学習指導要領改訂のキーワードを多岐にわたって分かりやすく説明していただきました。



また、育成を目指す三つの資質・能力と保健・体育の見方・考え方は関連して育まれていくこと、資質・能力が育成される指導場面を設定すること、育成された資質・能力を児童生徒自身が自覚できる場面を設定することなど、今後の授業改善のポイントについても具体的に示していただきました。

2. ワークショップ「単元計画を作成しよう」

4つのグループに分かれ、領域や対象学年を決め、話題提供の内容を踏まえながら単元構造図を作成するワークショップを行いました。

まずは、新学習指導要領で示された「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の例示を付箋に書き出しました。それを何時間目に、どの順番で指導・評価していくのか話し合いました。また、1時間ごとの授業を想定しながら、付箋の内容を学習・評価することができる具体的な活動内容を決めていきました。



今回のワークショップを通して、これまでの実践で知識・技能に重点を置いて指導していたことに気付いたり、今回実施したワークショップを校内の研修やサークル等の活動を通して広めていくためにはどうすればよいかを考えたりするなど、グループの先生方と様々な意見交換を通して、たくさんの学びがある活動にすることができました。

（文責：三本・長谷川）